

質量分析装置オンラインセミナー

質量分析装置は、分子の質量を計測して試料中の成分を推定することが出来る装置です。この度、富山大学では、高精度な温度制御を可能にした高感度・高質量精度なQ-TOF（四重極-飛行時間型質量分析計）を備えた液体クロマトグラフ質量分析装置（LCMS）並びに揮発成分を対象とするガスクロマトグラフ質量分析装置（GCMS）を導入しました。LCMSでは、エレクトロスプレーイオン化（ESI）と大気圧イオン化（APCI）を同時に行うDUISイオン化ユニットの他、探針エレクトロスプレーイオン化（DPiMS）や大気圧直接イオン源（DART）も利用できます。GCMSには、液体や固体から揮発成分を取り出して分析を可能とするヘッドスペース（HS）が付属しています。従来は有機化学者が主に研究で用いる限定的な分析法でしたが、これらのオプションを駆使することで、様々なアプリケーションに利用できる装置です。

この度、装置メーカーから講師をお招きして、これらの原理や応用事例をご紹介します。

参加無料

- | | | |
|-------------|--------------------------|--|
| 講演 1 | 日時：
題目： | 2022年7月20日(水)15：00～16：00（講演後質疑応答）
四重極飛行時間型質量分析計LCMS-9030と
探針エレクトロスプレーイオン化キットDPiMSのご紹介 |
| 講演 2 | 日時：
題目： | 2022年7月25日(月)15：00～16：30（質疑応答含む）
HS-GCMSの基礎と分析例のご紹介 |
| 講演 3 | 日時：
題目： | 2022年7月27日(水)15：00～15：45（講演後質疑応答）
サンプルを前処理なしでかざすだけ、
瞬時に質量分析できる大気圧直接イオンソース DARTのご紹介 |

場 所 WEBセミナー（オンライン・ライブ）形式
定 員 それぞれ200名（全て別の内容です。1つだけの参加も受け付けます）
申込方法 Google Formにてお申し込みください。
 申込み用Google Formsのアドレスは機器分析施設のホームページにてご確認ください。3回のオンラインミーティングのURLは7/19にメールにてお知らせします。
申込締切 7月18日（月）

LCMS-9030



GCMS-QP2020NX



大気圧直接イオン源DART



問合せ先

富山大学 研究推進機構 研究推進総合支援センター
 自然科学研究支援ユニット 機器分析施設
 内線（6825） Tel：（076）445-6825
 E-mail： yono@ctg.u-toyama.ac.jp



マスコットキャラクター
ぶんせきっず